

ID ^{注1)}	171107	公開レベル ^{注1)}	A	保管形式 ^{注1)}	—	保管場所 ^{注1)}		前回ID	161108
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	平成29年度 国指定白神山地鳥獣保護区におけるクマゲラ生息調査	発行年月/報告年月	
		2018年 ▲▼	3月 ▲▼
		資料形式 ^{注2)}	その他

調査機関	環境省 東北地方環境事務所	委託機関	(一部) 白神マタギ舎
------	---------------	------	-------------

調査開始年	2006年 ▲▼	7月 ▲▼	調査期間	2017年 ▲▼	6月 ▲▼	～	2017年 ▲▼	11月 ▲▼
-------	----------	-------	------	----------	-------	---	----------	--------

調査頻度 ^{注2)}	毎年 — —	調査時期 ^{注2)}	春 秋 —
---------------------	--------	---------------------	-------

ヒカリツ計画	2017年3月 策定	区分 ^{注2)}	ⅡB 大区分 ^{注2)} 2 小区分 ^{注2)} (2)
--------	------------	-------------------	--

調査箇所・範囲 ^{注3)}	調査手法
------------------------	------

核心地域 緩衝地域 周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

平成16年に白神山地世界遺産地域とほぼ同じ範囲が、希少種や大型種を含む野生生物の大規模生息地として国指定白神山地鳥獣保護区に指定された。クマゲラもその保護対象の一つであり、モニタリング調査や現場巡視、白神山地世界遺産地域連絡会議との連携協力を通じて適正に保護すべき種となっている。

当該保護区では、平成18年度より国指定鳥獣保護区管理員による巡視が行われている。この巡視の範囲内で、クマゲラの生息状況の確認調査を、年に1～3回実施している。

この調査は、クマゲラのねぐら木もしくは営巣木を踏査により探し、クマゲラの新しい痕跡の有無を判断する。新しい痕跡が確認できる木が見つかった場合は、少し離れた場所で定点調査を行い、クマゲラの帰巣を待つものである。

調査時期は、クマゲラを目視することのできる可能性が高い時期に実施する。春の繁殖後期(繁殖が行われている場合は巣立ち前の時期)、もしくは秋の次年度の営巣のために巣穴を整える時期に実施する。

また、近年上記巡視調査ではクマゲラの新しい痕跡を見つけれないことから、平成29年度は別に、クマゲラの生息の可能性の高い既存の調査地の周辺において、集中的な踏査調査を実施した。

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

- 平成29年度は7月に1回調査を実施した。踏査を行ったが新しい巣穴や補修した痕は確認されなかった。
- また、別に11月初旬の4日間に、調査地周辺も含めて集中的な踏査調査を実施した。新たに数本の木で痕跡を確認することができたが、新しい痕跡は確認できなかった。

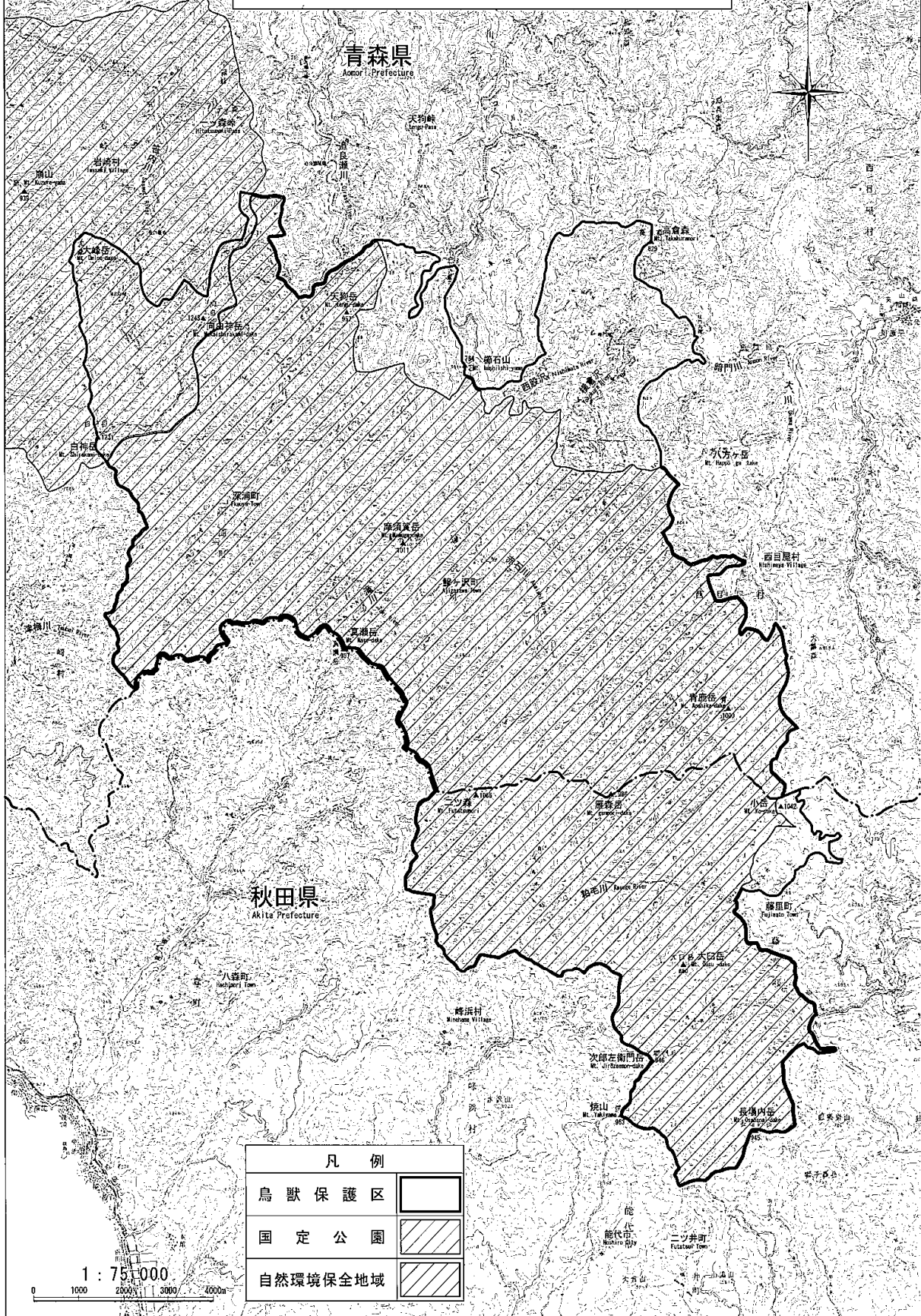
問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本(データ)の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

この地図は国土地理院の承諾を得て、国政発行5万分の1地形図を複製したものである。(国産番号) 平13環設第24号

国指定白神山地鳥獣保護区区域図



凡例	
鳥獣保護区	
国定公園	
自然環境保全地域	